

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第1部門第2区分
 【発行日】令和4年9月12日(2022.9.12)

【公開番号】特開2021-78830(P2021-78830A)
 【公開日】令和3年5月27日(2021.5.27)
 【年通号数】公開・登録公報2021-024
 【出願番号】特願2019-209545(P2019-209545)
 【国際特許分類】
 A 6 1 B 1 7 / 2 2 1 (2 0 0 6 . 0 1)
 【 F I 】
 A 6 1 B 1 7 / 2 2 1

10

【手続補正書】
 【提出日】令和4年9月2日(2022.9.2)

【手続補正1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】

20

【特許請求の範囲】

【請求項1】

操作ワイヤと、
 前記操作ワイヤの先端部に後端部が接合されるとともに、複数のワイヤから形成され、
 径方向に拡縮可能なバスケットと、を有し、

前記操作ワイヤは、前記操作ワイヤの先端部に湾曲部を備え、
 前記操作ワイヤの前記湾曲部は、前記操作ワイヤの先端部に設けられる第1の湾曲部と、
 前記第1の湾曲部よりも前記操作ワイヤの後端側に設けられる第2の湾曲部と、を有し、
 前記第1の湾曲部の湾曲度合いが、前記第2の湾曲部の湾曲度合いよりも大きい、
 医療用デバイス。

30

【請求項2】

前記バスケットは、
 前記複数のワイヤのうち、前記バスケットの周方向に隣接し、前記バスケットが拡張した
 状態において、前記バスケットの中心軸よりも前記湾曲部の湾曲方向に設けられる、第1
 の内側ワイヤ及び第2の内側ワイヤと、
 前記バスケットの中心軸よりも前記湾曲部の湾曲方向と反対方向に設けられる、第1の外
 側ワイヤ及び第2の外側ワイヤと、を有し、
 前記バスケットの横断面における、前記第1の内側ワイヤ及び第2の内側ワイヤの距離が
 、前記第1の外側ワイヤ及び第2の外側ワイヤの距離よりも大きい、
 請求項1に記載の医療用デバイス。

40

【請求項3】

前記医療用デバイスは、
 前記操作ワイヤ及び前記バスケットを収容するシースを有し、
 前記操作ワイヤは、前記操作ワイヤの先端部に、前記シースの内腔から外部に露出する
 ときに湾曲する湾曲部を有し、
 前記バスケットの先端方向が、前記操作ワイヤの湾曲部の湾曲に従って変化する、
 請求項1又は2に記載の医療用デバイス。

50